

## 第 281 回環境委員会・第 218 回フタレート部会 議事録

日 時 2025 年 3 月 25 日 (火) 14:30~16:00

場 所 東部ビル 5 階会議室ハイブリッド開催

出席者 安藤環境委員長、楯谷副委員長、石神副委員長、加茂川副委員長、宮崎謙一フタレート部会長、古賀アジパート部会長、小野広報部会長、高見技術部会長、長田委員、藤澤委員、小川アドバイザー、盛田会長、山下理事、柳瀬技術部長、山口 (記)

欠席者 根岸副会長、宮崎常昭アドバイザー

冒頭、参加者全員が独禁法遵守ガイドラインを確認した。

1 月度トピックス：柳瀬技術部長

・欧州：EP がオルトフタレートについてのグルーピング案を公表した。

・日本：カーペット工業組合の委託試験の報告会に参加した。

1. 各部会報告

1-1. フタレート部会

1-1-1. 環境 WG

高見主査より報告。

・2025 年環境モニタリングの見積もりはモノ体の測定がなかった一昨年と同額である。総会の予算決定前に発注したいので、4 月の環境委員会で上程することとしたい。

1-1-2. 安全 WG

長田主査より報告。

・化審法対応 DEHP の文献調査を MCR で終了したが、メディフォード社で文献精査をする見積もりを依頼中。次回環境委員会で上程する。

1-1-3. 調査 WG

高井部会長より報告。全 60 件。キーワードとして内分泌かく乱作用が増加してきている。全般的傾向は変わらず。

2503-023：米国、Exxon の委託研究、DIDP の内分泌かく乱作用の評価。In vitro では内分泌かく乱作用を示さない。

2503-024：日本、北海道大学、コホート研究の分析によるフタル酸エステルの影響調査。思春期の子どものホルモンに影響を及ぼしている。

2503-057：UK、土壌中での可塑剤の分解速度の考察。

柳瀬技術部長：DEHP は分解されやすいのか？

高井部会長：DOA や ATBC に比べると分解され難い。

1-2. アジパート部会

古賀部会長より報告。

1-2-1. PVC 安全衛生連絡会

・EU, PIM 第 18 次改正案で BPA 類の全面使用禁止が盛り込まれた。

・リサイクル材への非意図的添加物質の純度については EU で定めたリサイクル方法であれば、測定が必要ないと判断される方向となった。

・ミネラルオイルの SML 量規制の検討

高見部会長：ミネラルオイルは潤滑油の添加剤で、食品接触材料としては製造工程の潤滑油が考えられる。

・EU での車両におけるリサイクル材使用率が下方修正された。

・INC-5.2 は 8 月 5 日～14 日となった。

### 1-2-3. DOA の第一種指定化学物質指定

・MCR の生殖毒性（代謝）に関する調査報告書の報告会を開催した。ただ、生殖毒性、代謝の種差の論文はほとんどないことが分かった。次のステップとして DEHP と同様に In vitro の試験をやって nite 分類を見直す根拠としたい。次回環境委員会で予算化することを提案したい。

### 1-3. 広報部会

小野部会長より報告。

・JAMA で DINP の情報共有化を実施。

安藤環境委員長：彼らの最大の関心事は DINP の規制であるが、喫緊の課題はなく、米国では毒性がないと結論付けられそうだということで安心されていた。

柳瀬技術部長：1-3-4. 添付資料の EP のグルーピング案を説明。C4-C8 について毒性を示すということで当局の見解の補完的データとなっている。

長田主査：Vinyl India でのプレゼン内容を説明。

### 1-4. 技術部会

高見技術部会長より報告。

#### 1-4-1. 顧客からの問い合わせ

柳瀬技術部長から説明。

#### 1-4-2. SDS

・安衛法別表 9→施行規則別表第 2 への修正は 3 月末までに実施するが「改訂」とはしない。

#### 1-4-3. 労安法改正

・DOP、DBP の改訂案作成済み。チェック終了次第 HP 掲載のため広報部会へ連絡する。

#### 1-4-7. 再査定申請関連

・DINP とアジピン酸ジノルマルアルキル (6-10) について再査定終了。

・DEHP は再査定中。

#### 1-4-11. GHS 分類

・GHS 分類比較表を見直している。3 月中目途にリストアップの予定。

## 2. PVC 関連団体とのコワーク他

柳瀬部長より説明。

### 3-3-2-1. CLH

・仏国が C4-C6 のオルトフタレート of CLH を 4 月に再提出することなので、CLH の意味合いを確認したが何故このタイミングで提出されるのか真意は図りかねた。

### 3-3-6. EPA

・EPA が米国史上最大の規制緩和を行うとの発表があった。詳細不明だが要注視。

### 4-1-2-2. シックハウス関連

・カーペット工業組合の長尺・タイルカーペットの放散の委託試験の報告を聴取。換気を怠らなければ問題ないレベルであった。次年度はにのいの試験を実施する。

### 4-1-3-1. エコチル関連

・柳瀬部長がシンポジウムに参加。フタル酸エステルについてはデータは取ったが、公表時期の目途が立っていないとのことであった。この会で、上島先生は、「現時点では疫学的に生殖毒性は認められていない。」と、仰っていた。

以 上